

梅雨(曇天・多雨)対策編

梅雨時期の曇天・多雨は作物の生育に影響を及ぼします。液肥の効果を発揮させるためには、いざ悪天候で生育が悪くなる前から**予防的に施用**しておくことがポイントです。事前にしっかり対策を行い、梅雨時期を乗り切りましょう！

気候の特徴

曇天・日照不足
長雨・過湿

作物への影響

光合成能力の低下
雨による根の
ストレス、生育不良

万能

光合成能力の低下時に

アラフェスタ

1kg
(約780mL)

10kg
(約7.8L)

特長・効果

- 葉緑素のもととなるALA、2価鉄をはじめ、亜リン酸などの速効性の機能成分を配合した高機能液肥。
- 梅雨時期に低下しがちな光合成代謝の向上が見込めます。

施用方法：希釈倍率1000～2000倍
2、3週間おきに定期的に葉面散布

コスパ

微量元素の補給に

鉄力あくあF14

1.1kg
(約1L)

11kg
(約10L)

特長・効果

- 葉緑素を生成する2価鉄と微量元素を配合した高機能液肥。
- 長雨や大雨で不足しがちになる微量元素を補給します。

施用方法：希釈倍率3000～5000倍、
2、3週間おきに定期的に葉面散布

速効性

大雨後の回復を助ける

ホストツプ

1.35kg
(約1L)

13.5kg
(約10L)

特長・効果

- 植物が吸収しやすい亜リン酸とカリを配合した速効性の高機能液肥。
- 亜リン酸とカリが梅雨時期の大雨などで弱った根の活性を高めます。

施用方法：希釈倍率1000倍、
2、3週間おきに定期的に葉面散布